近鉄小倉駅周辺地域における
これからのまちづくりを考える

京都府立大学による
2019年度 まちづくり市民アンケート調査結果概要報告と市民ワークショップ

２０２０年1月・2月

京都府立大学　京都地域未来創造センター
統括マネージャー　青山公三　（龍谷大学 大学院 政策学研究科教授）
研究員　永田恵理子
研究員　橋爪さやか
ワークショップ協力：　京都府立大学 生命環境科学研究科 院生
龍谷大学 政策学研究科 院生
同志社大学　理工学部 数理学研究室学生

2018年度の調査

○ 小倉地区の建物･土地利用等現況調査

（空き家、建物用途、構造、道路幅員、駐車場、公園、プランター等）

○ 統計データによる小倉地区分析

（人口推移、高齢化比率、幼少人口比率、単身世帯比率、

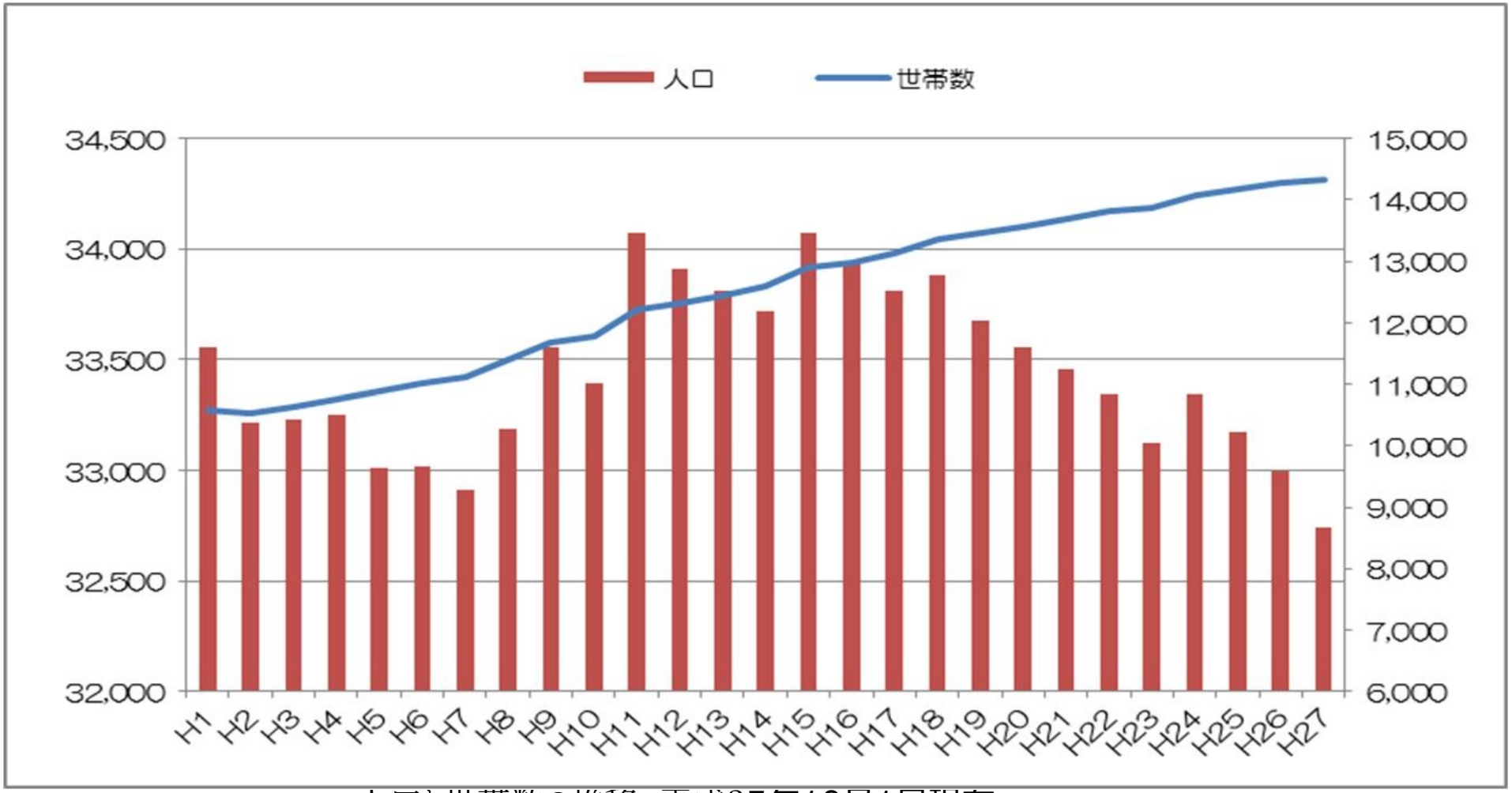
人口密度、市内就業比率、平均世帯人員、将来高齢化比率予想等)

○ 小倉地区におけるワークショップ（2019年2月～3月 3回実施 延べ60名）

小倉地区の概要（データはいずれもH.27国勢調査）

○ 総人口　　19,670人
○ 総世帯数　　8,435世帯
○ 世帯当り人員　　2.5人　（市全体2.47人）
○ 人口密度　　81人/ha(市全体27.3人/ha)
○ 高齢化比率　　31%　（市全体27%）
○ 幼少人口比率　　11%　（市全体13%）
○ 単身世帯比率　　33%　（市全体27%）
○ 市内就業者比率 40.9%　（市全体40.2%）

小倉地区の人口･世帯数推移



人口と世帯数の推移　平成27年10月1日現在

※小倉地域（小倉町と伊勢田町の一部、宇治の一部、南陵町、神明の一部を含む）

■2018年度　3回のワークショップで出た主なご意見

・全般に**交通課題の解消**を求める声が多かった。
　特に**東西交通の分断（踏切）**が日常生活のネックになっており、
　駅周辺整備に関する要望が強い。

・駅前を含め、今のまちに**ネガティブなイメージ**をもっており、
　駅前に賑わいを求める声が多数ある。

・住民同士の交流、豊かな田園風景、地形（平坦）には**満足**している。

・喫緊の課題としては高齢者の**買い物が不便な状況**が挙がっている。

2019年度の調査

① 市民アンケート調査の実施（地区住民に対するアンケート調査）

○ 2019年9月24日～10月18日 実施

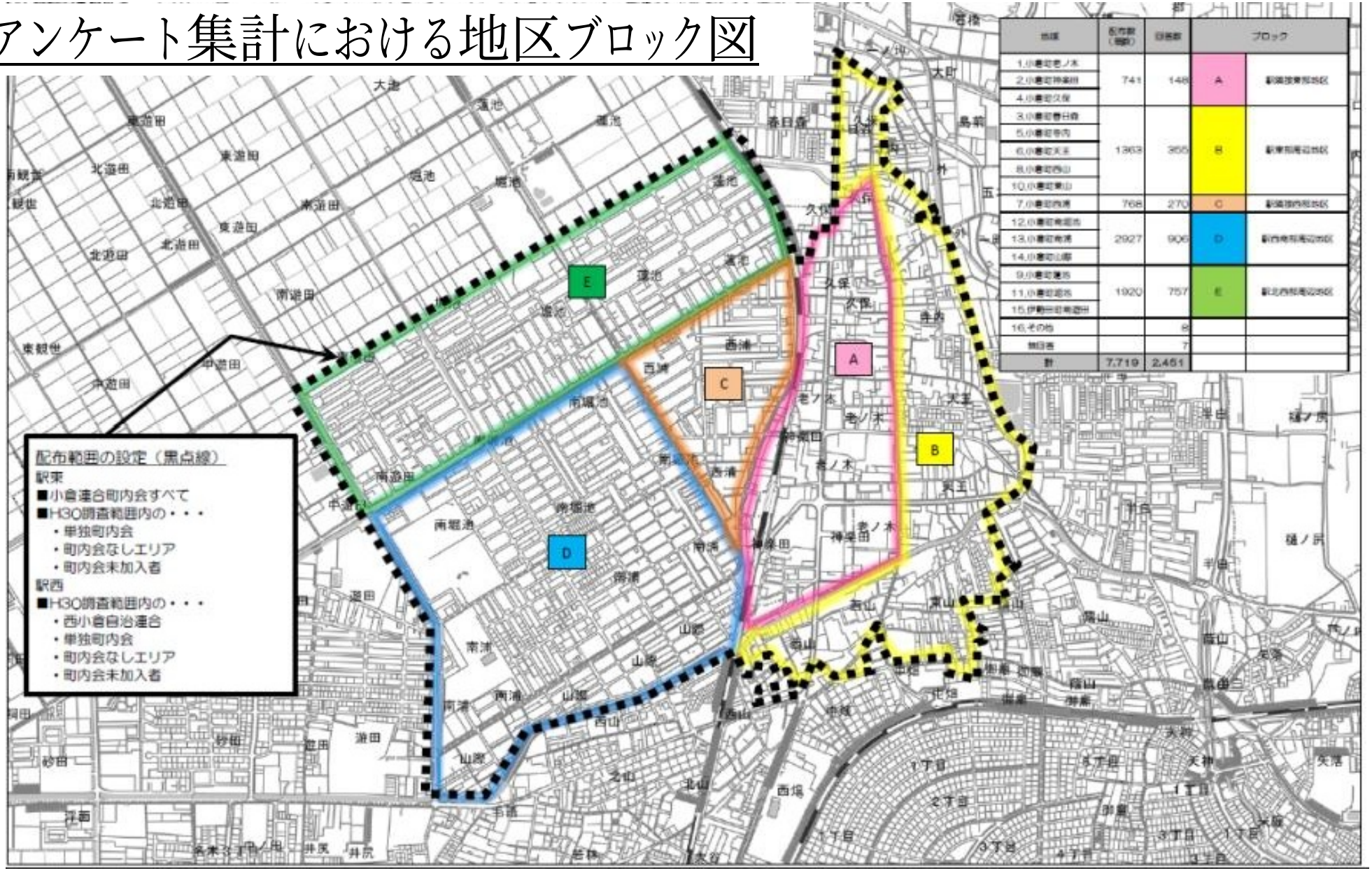
○ 7,596票 配布

○ 2,443票 回収(うち、1,232票 町内会を通じて回収
862票 回収BOX等による回収
349票 インターネットによる回収）

○ 回収率 32.2%

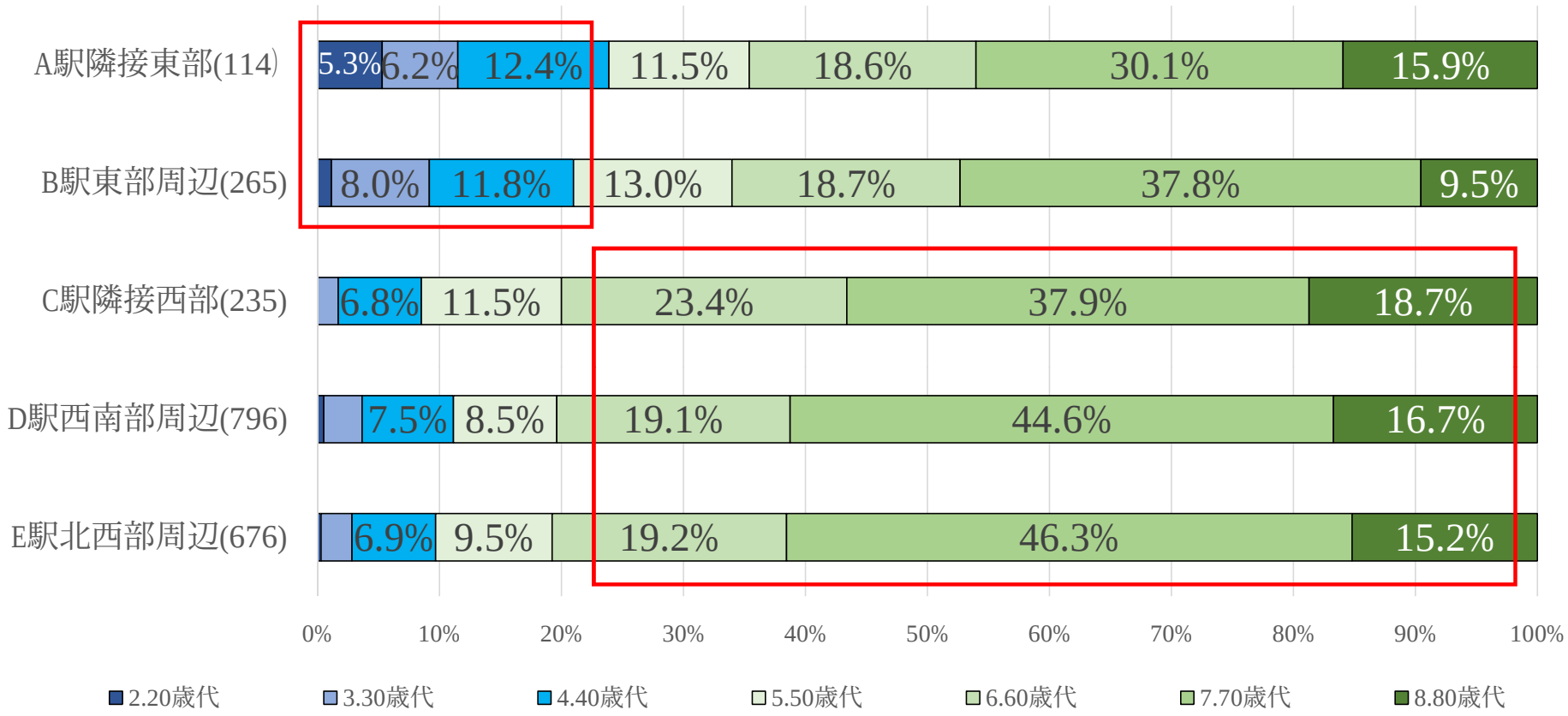
② 市民とのワークショップ開催（アンケート調査結果をふまえて）

アンケート集計における地区ブロック図



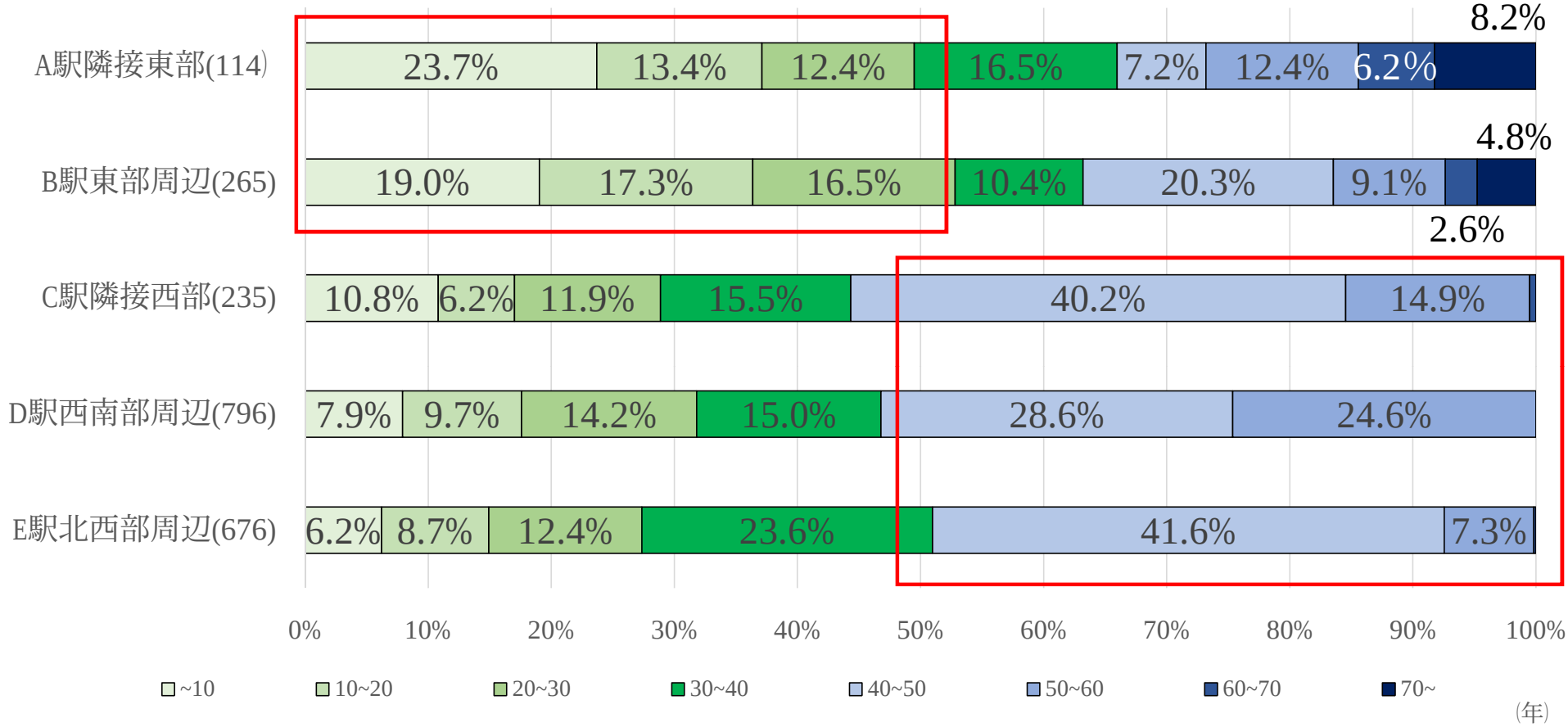
地区	配布数（世帯）	回答数	ブロック	
1.小倉北老ノ木	741	148	A	駅南西東部地区
2.小倉北神幸田				
4.小倉北久保				
3.小倉北春日森	1363	355	B	駅東部南部地区
5.小倉北寺内				
6.小倉北天王				
8.小倉北西山				
10.小倉北東山				
7.小倉北西浦	768	270	C	駅南西部地区
12.小倉北南堀池	2927	906	D	駅西南部南部地区
13.小倉北南浦				
14.小倉北山際				
9.小倉北蓮池	1920	757	E	駅北西部南部地区
11.小倉北堀池				
15.伊勢町北南部				
16.その他		8		
無回答		7		
計	7,719	2,451		

地区別回答者の年齢構成　地区名の後の(　)内は回答者数



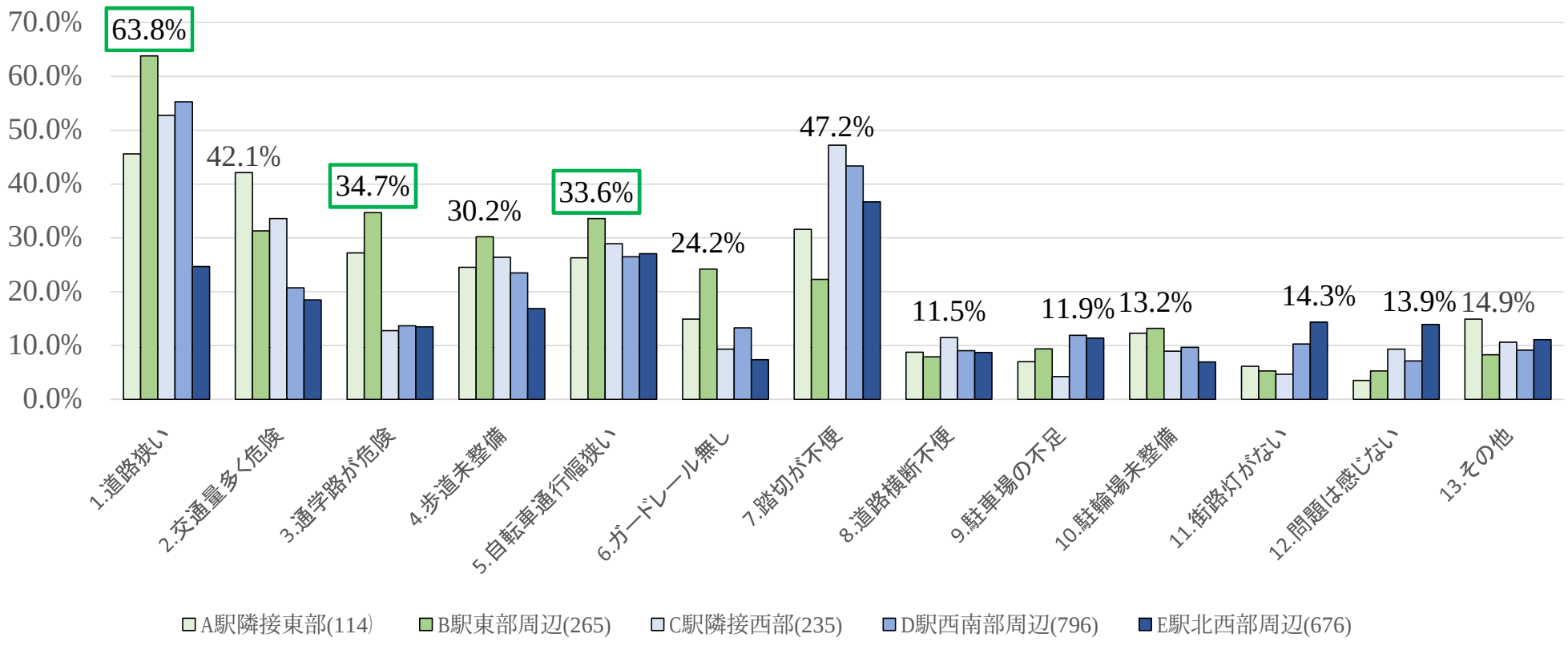
☞相対的に駅東部（A、B）に若い世代が多く居住
☞西側回答者のおよそ８０%が６０歳以上の方

地区別回答者の居住年数　地区名の後の（　）内は回答者数



☞（駅東地区）駅西地区と比べ居住年数は少ない
☞（駅西地区）約５０%が４０年以上居住

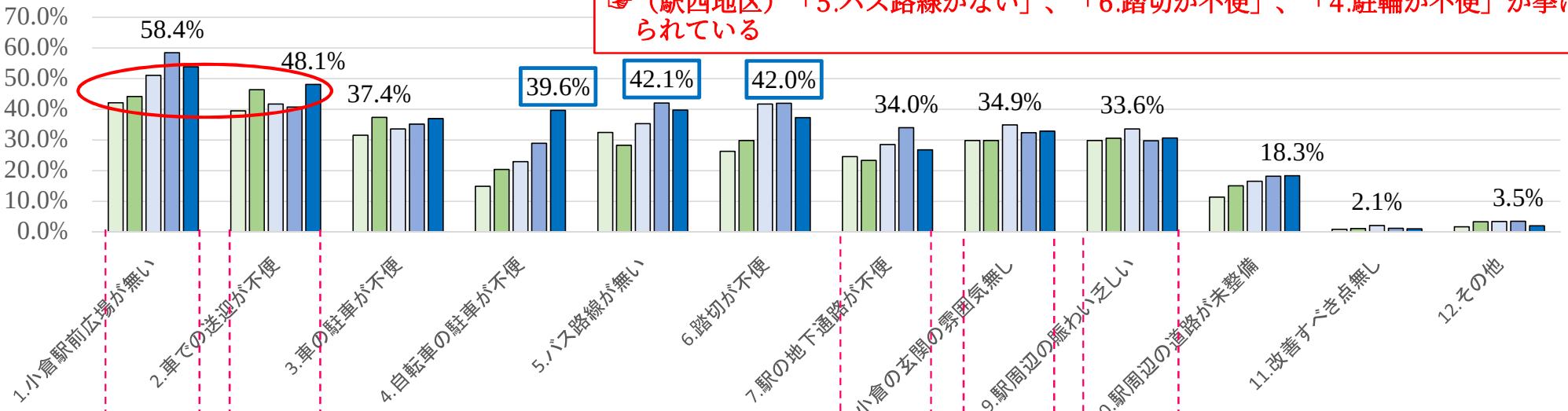
地区別交通環境の問題　地区名の後の(　)内は回答者数



☞B駅東部周辺地区では、「1.道路が狭い」、「3.通学路が危険」、「5.自転車通行幅狭い」など『道路の狭さ』に起因する回答が目立つ
☞駅東部と駅西部の評価が大きく異なるのは、「2.交通量多く危険」、「3.通学路が危険」、「7.踏切が不便」

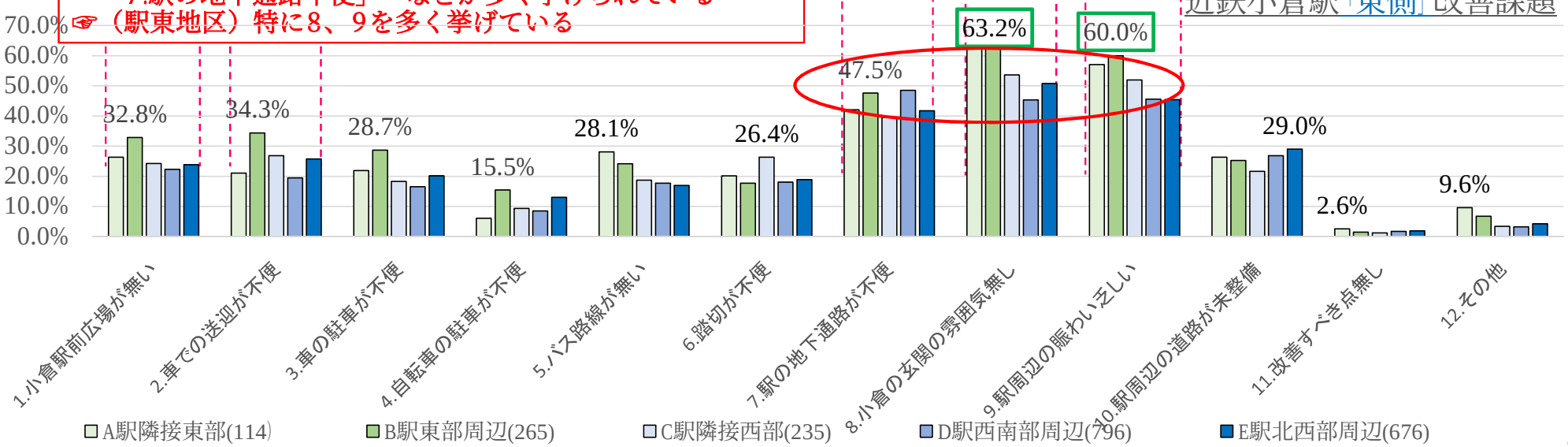
近鉄小倉駅「西側」改善課題

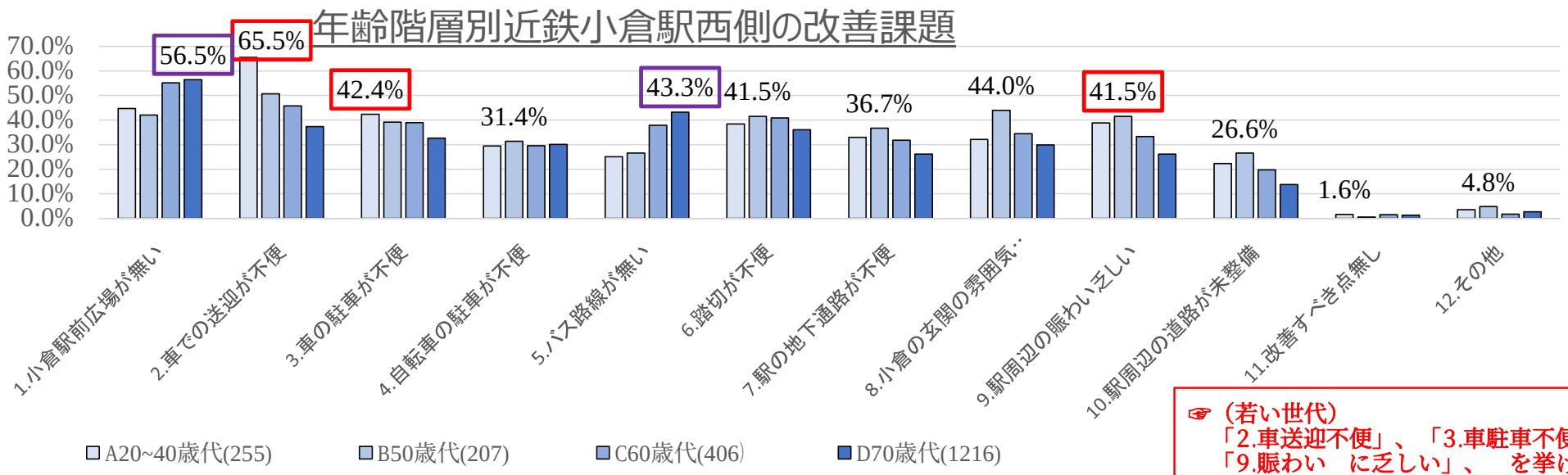
☞「1.駅前広場が無い」、「2.車での送迎不便」などを50%前後の方が挙げている
☞（駅西地区）「5.バス路線がない」、「6.踏切が不便」、「4.駐輪が不便」が挙げられている



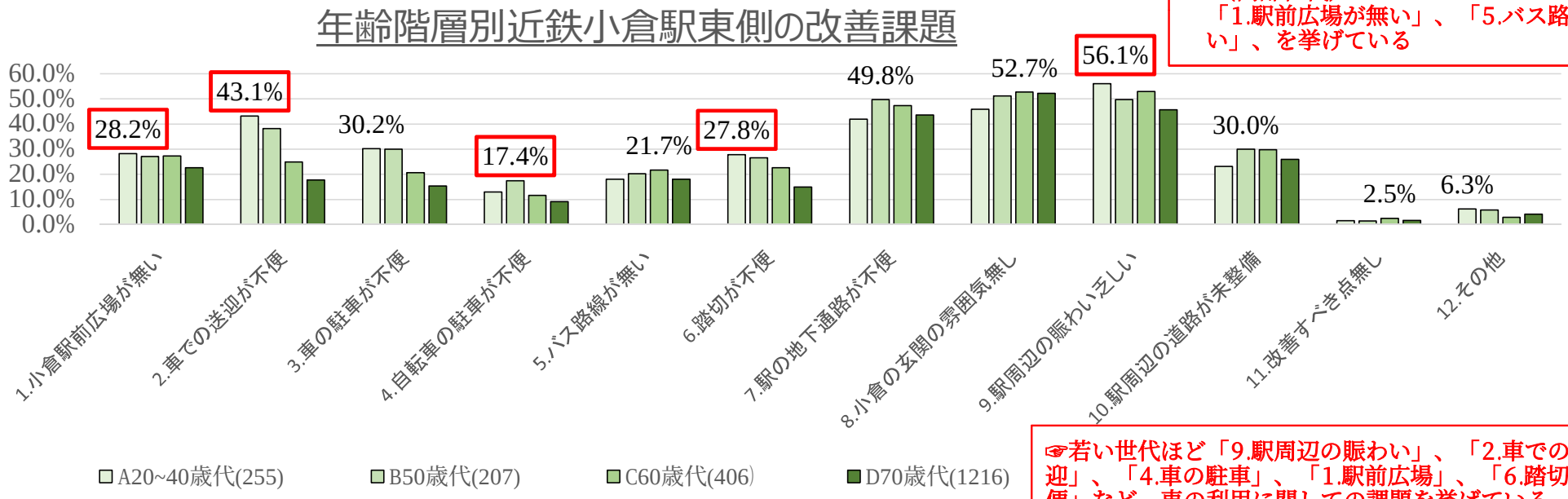
☞「8.玄関の雰囲気なし」、「9.駅周辺の賑わい乏しい」、「7.駅の地下通路不便」　などが多く挙げられている
☞（駅東地区）特に8、9を多く挙げている

近鉄小倉駅「東側」改善課題



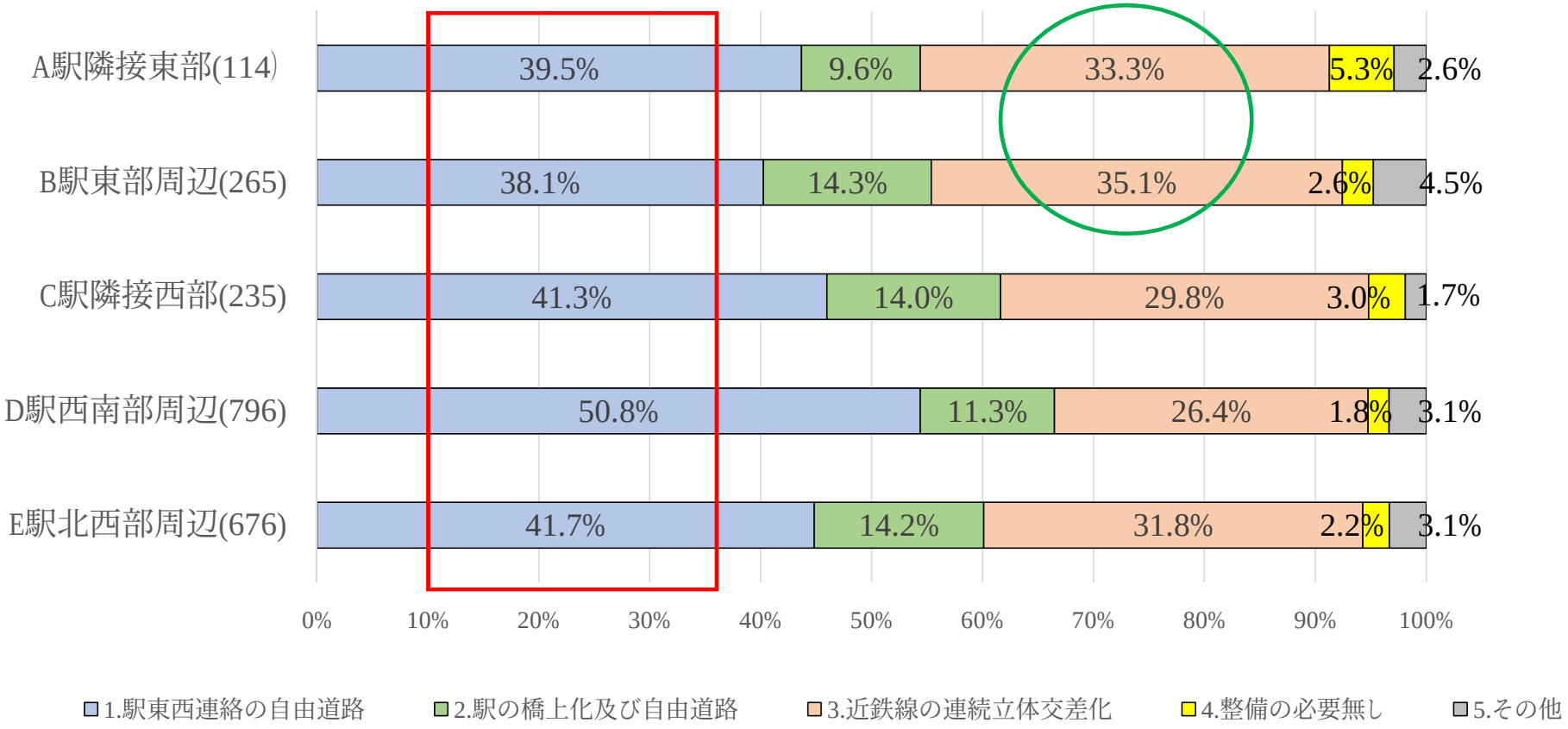


☞（若い世代）
「2.車送迎不便」、「3.車駐車不便」、「9.賑わい　に乏しい」、　を挙げている
☞（高齢世代）
「1.駅前広場が無い」、「5.バス路線が無い」、を挙げている



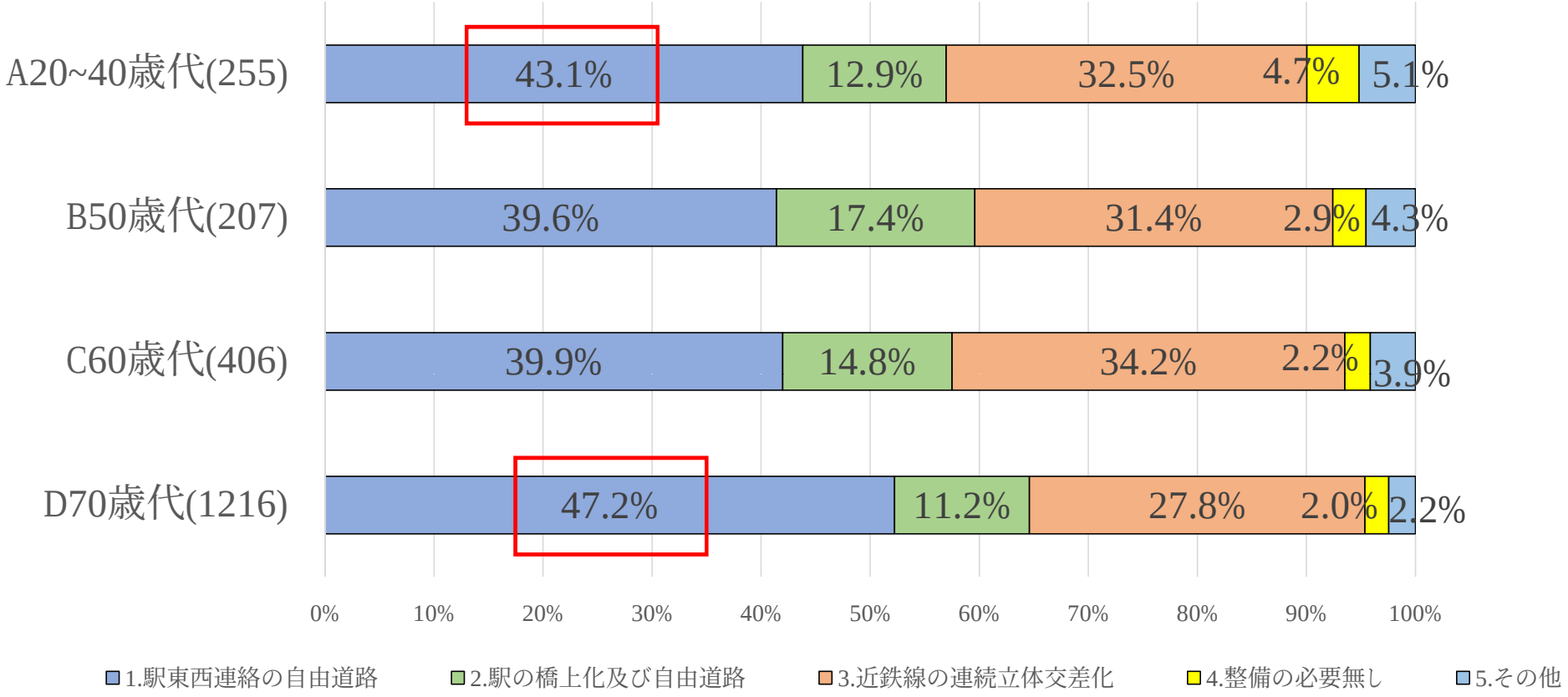
☞若い世代ほど「9.駅周辺の賑わい」、「2.車での送迎」、「4.車の駐車」、「1.駅前広場」、「6.踏切不便」など、車の利用に関しての課題を挙げている

地区別小倉駅に必要な整備　地区名の後の(　)内は回答者数



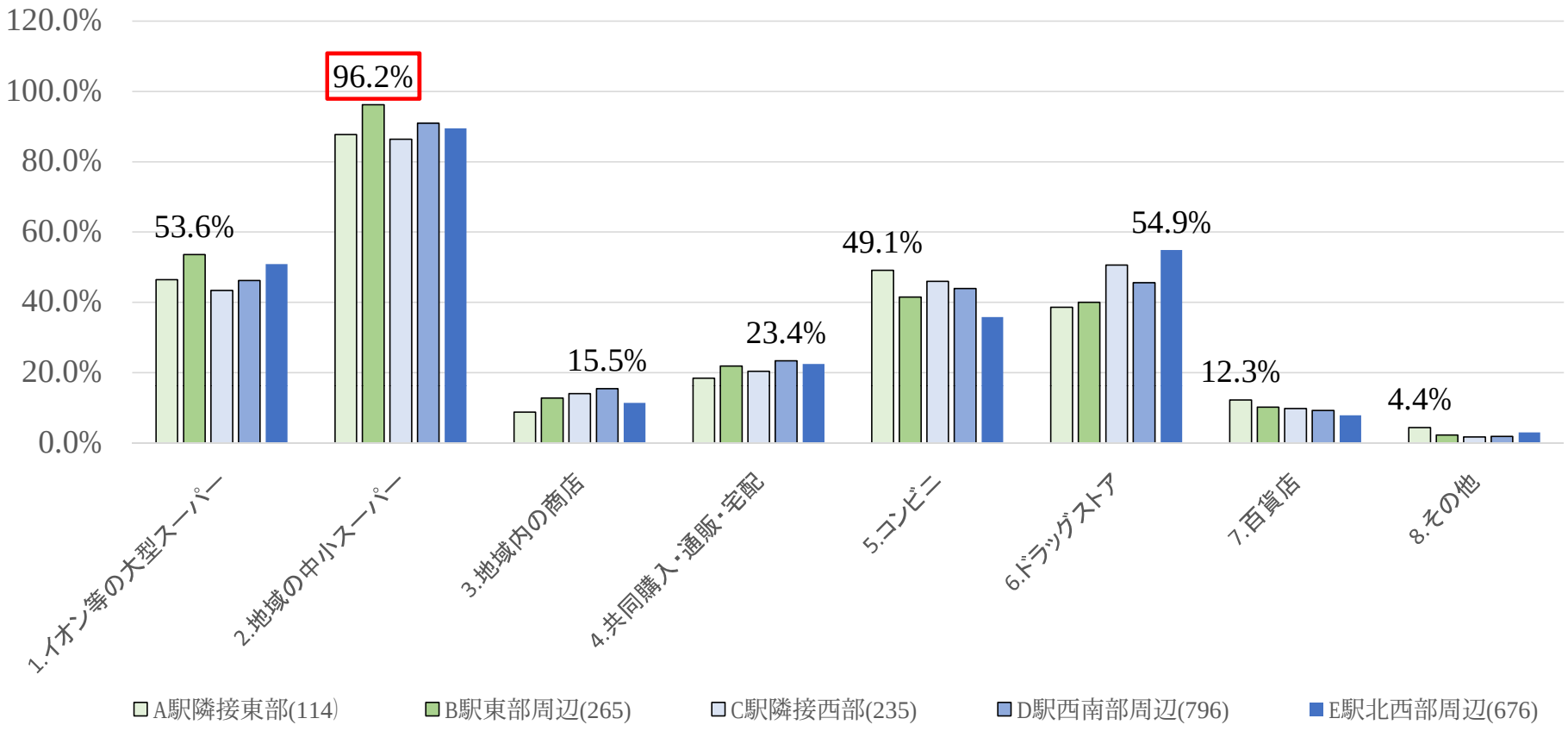
☞全体的には「1.駅東西の連絡自由通路」を半数弱の方が挙げており。次いで多いのが「3.連続立体交差」、「2.駅橋上化」。
☞（駅東地区）「3.連続立体交差」の回答が多い。

年齢階層別小倉駅に必要な整備



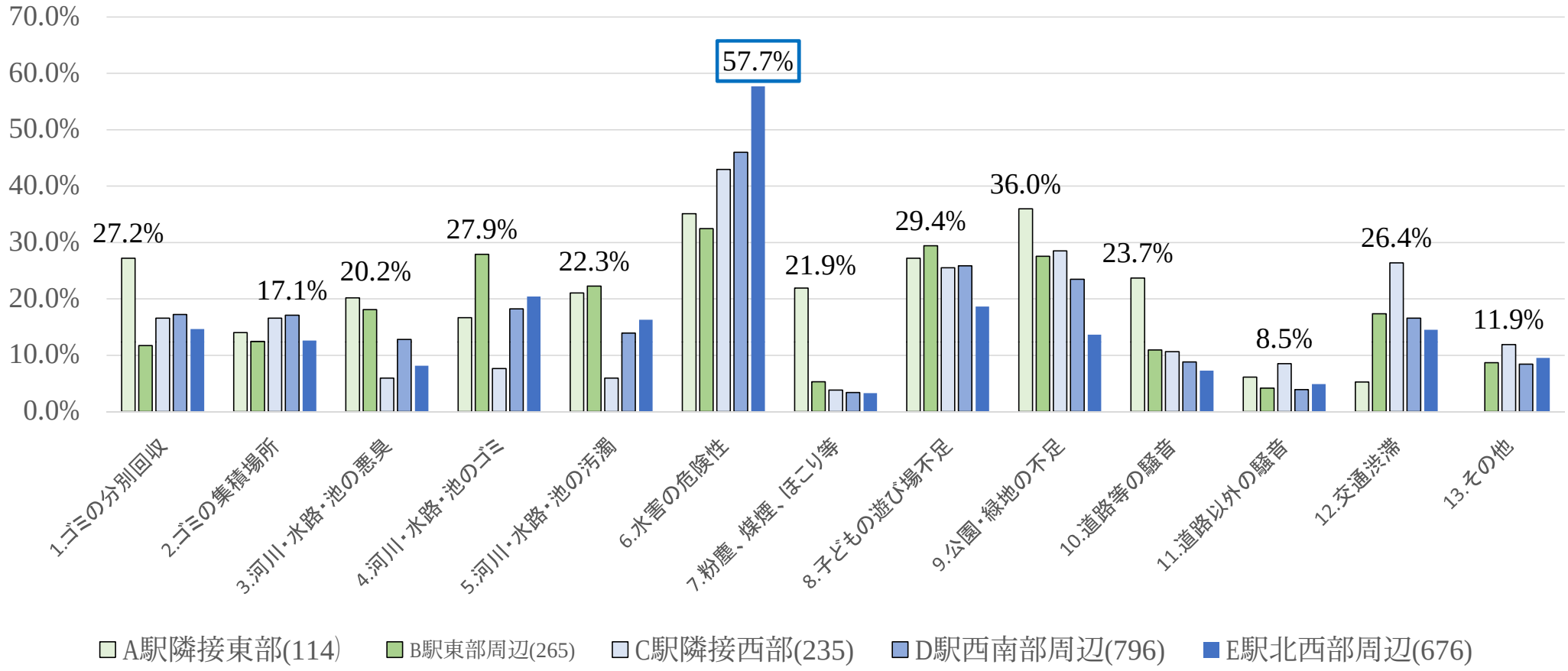
☞「1.東西自由通路」は、７０歳代以上の方々が多く挙げており、次いで２０代～４０代の若い方々の回答が多くなっている。

地区別買い物利用先　（1番目･2番目･3番目に買い物でよく利用するところの合計）



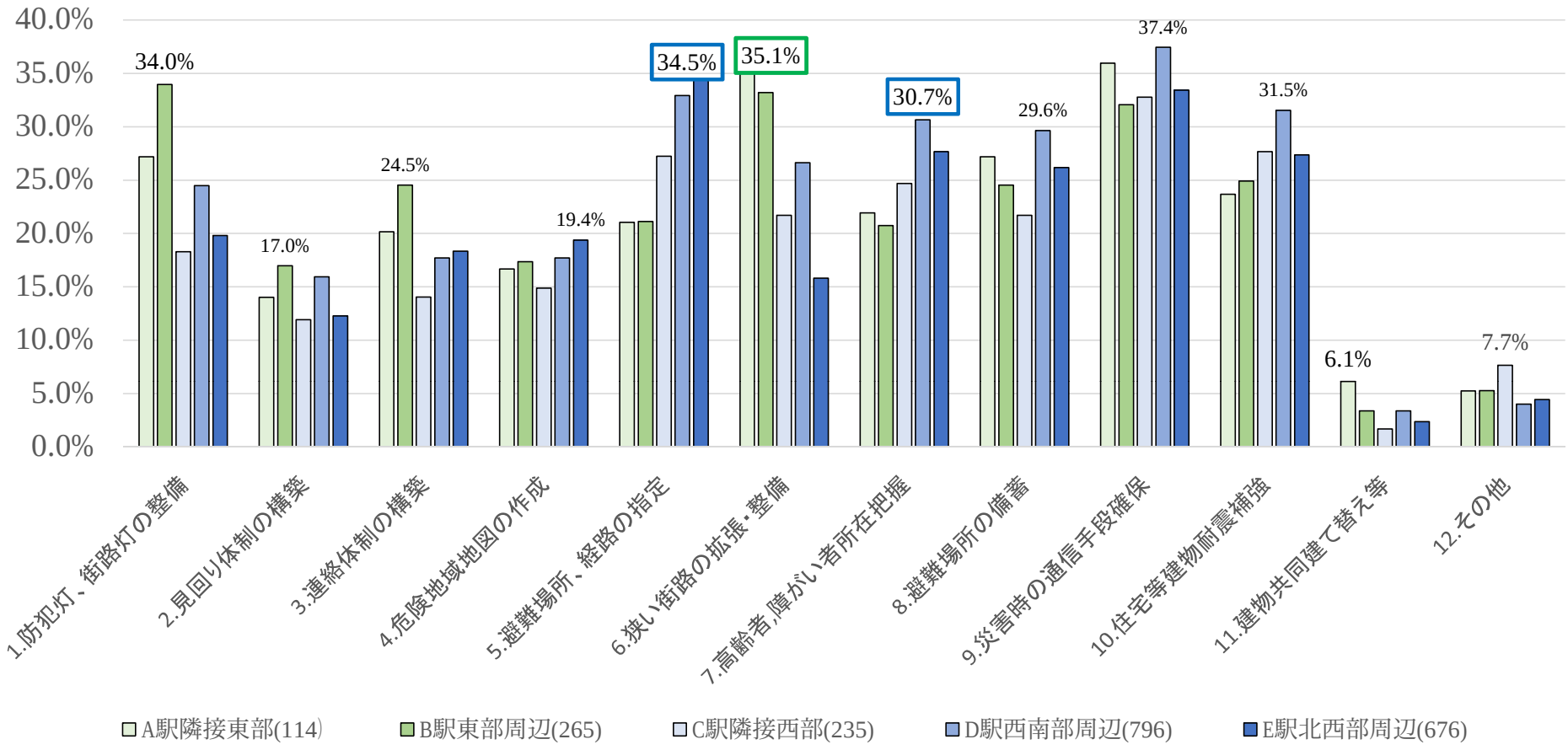
☞買い物先で最も多いのは、「2.地域の中小スーパー」で、次いで「1.大型スーパー」。
☞地域の中小スーパーが閉店したエリアもあり、買い物の不便さが増大する可能性がある。

地区別環境問題　地区名の後の(　)内は回答者数



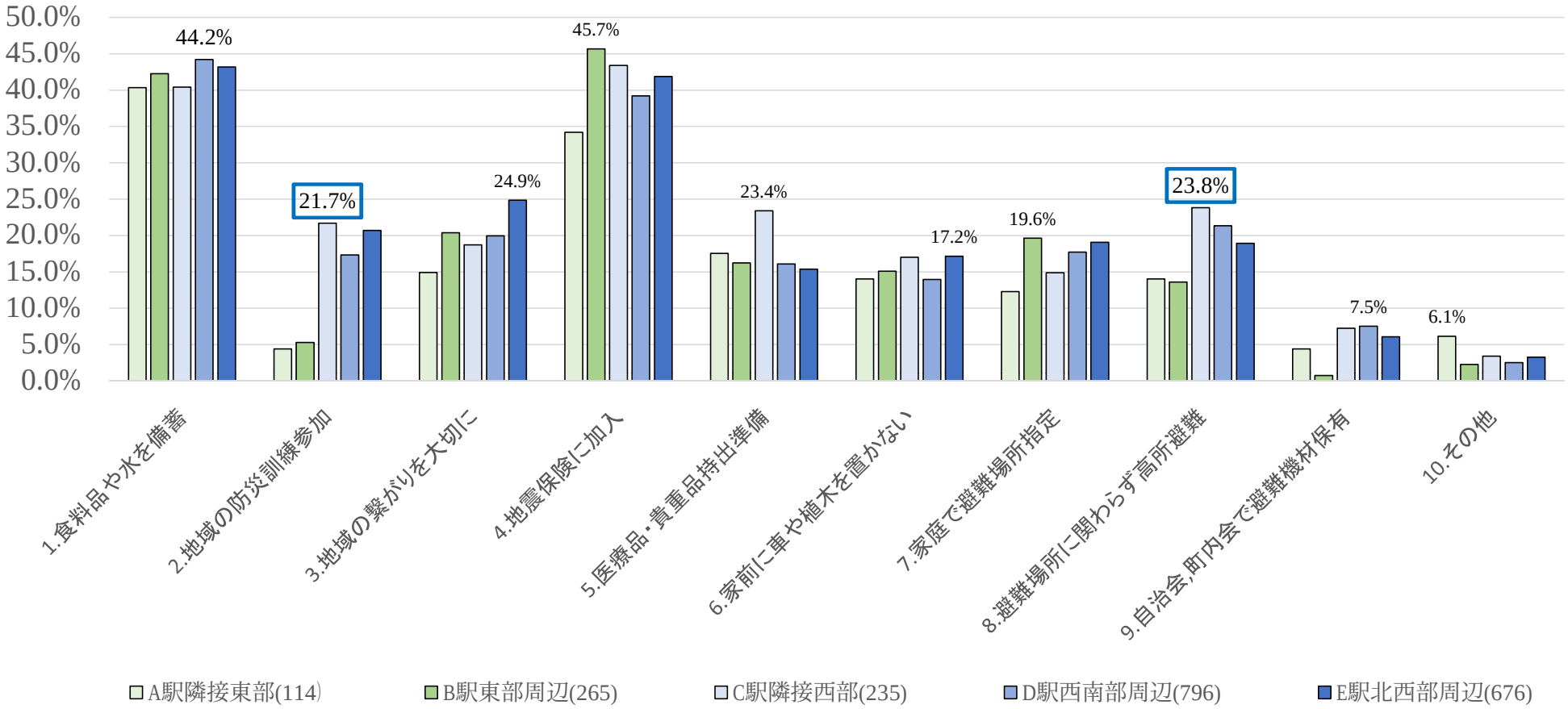
☞（駅西地区）「6.水害の危険性」を挙げる方が他の項目に比べて多い。

地区別防災・防犯の課題　地区名の後の(　)内は回答者数



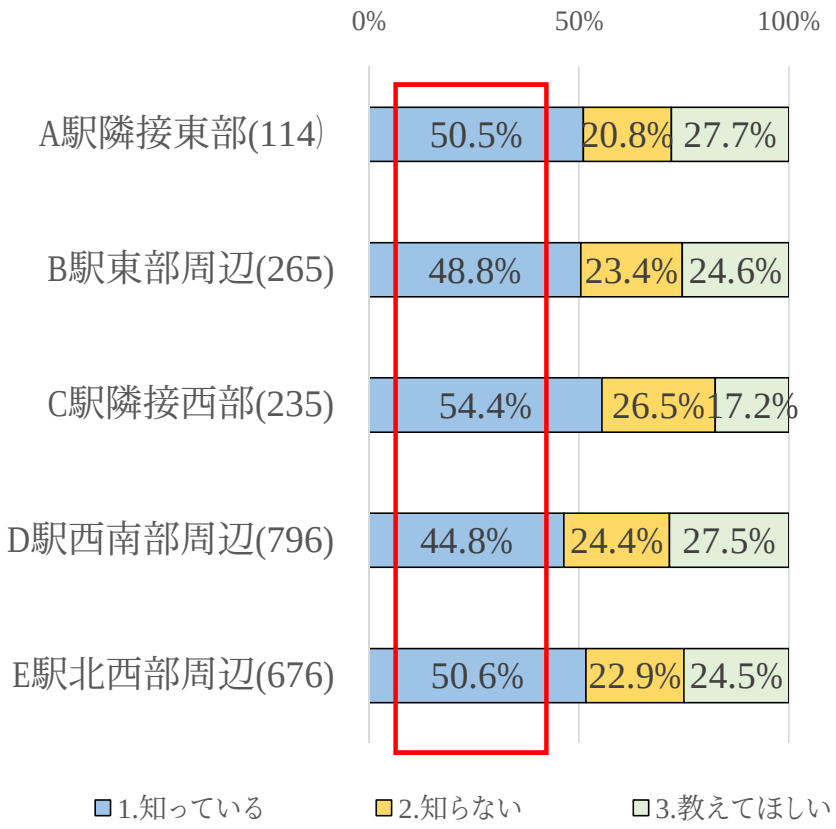
☞（駅東地区）「6.街路の拡張・整備」を課題として挙げている。
☞（駅西地区）「5.避難場所・経路指定」、「7.高齢者・障がい者の所在把握」を課題として挙げている。

地区別自主的な災害対策　地区名の後の( )内は回答者数



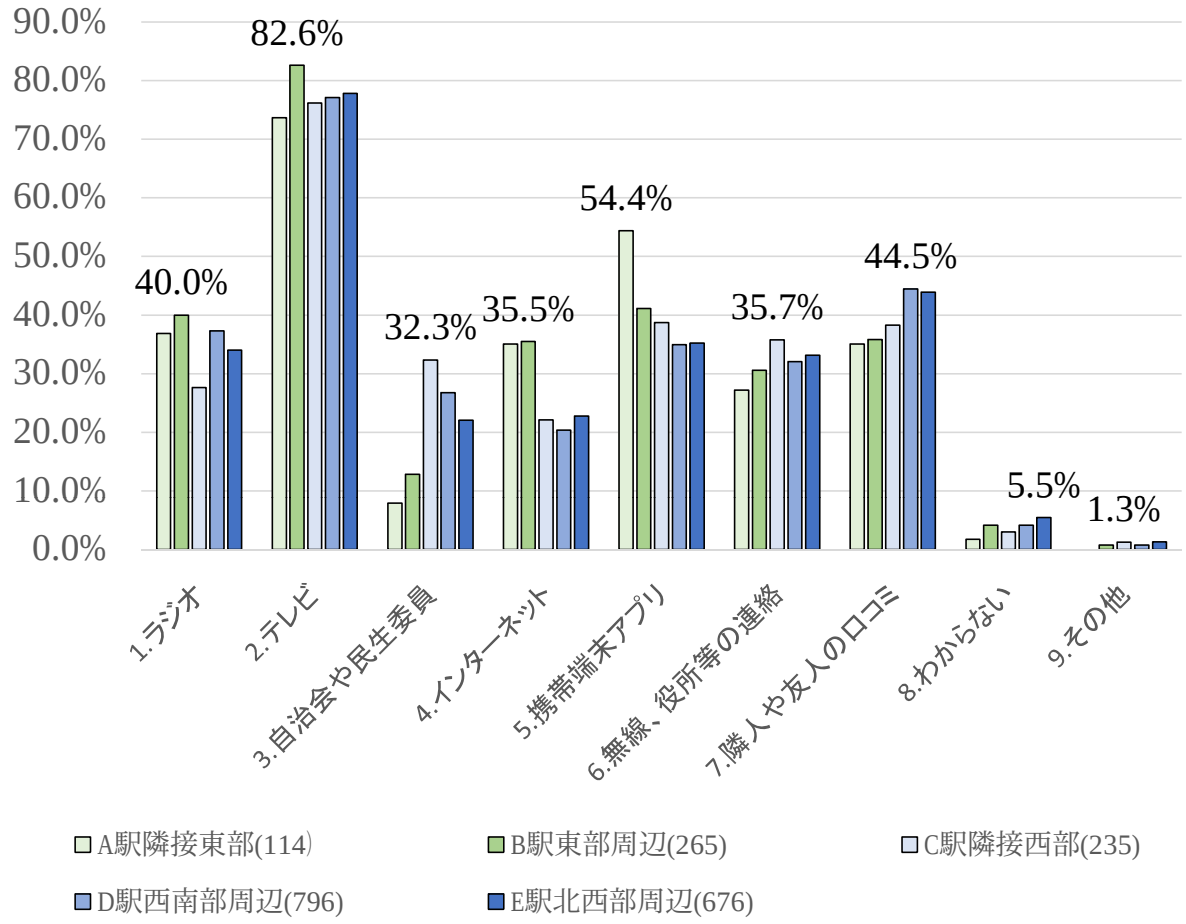
☞（駅西地区）「2.地域の防災訓練参加」、「8.高所避難」の回答が高い

地区別浸水可能性の認知



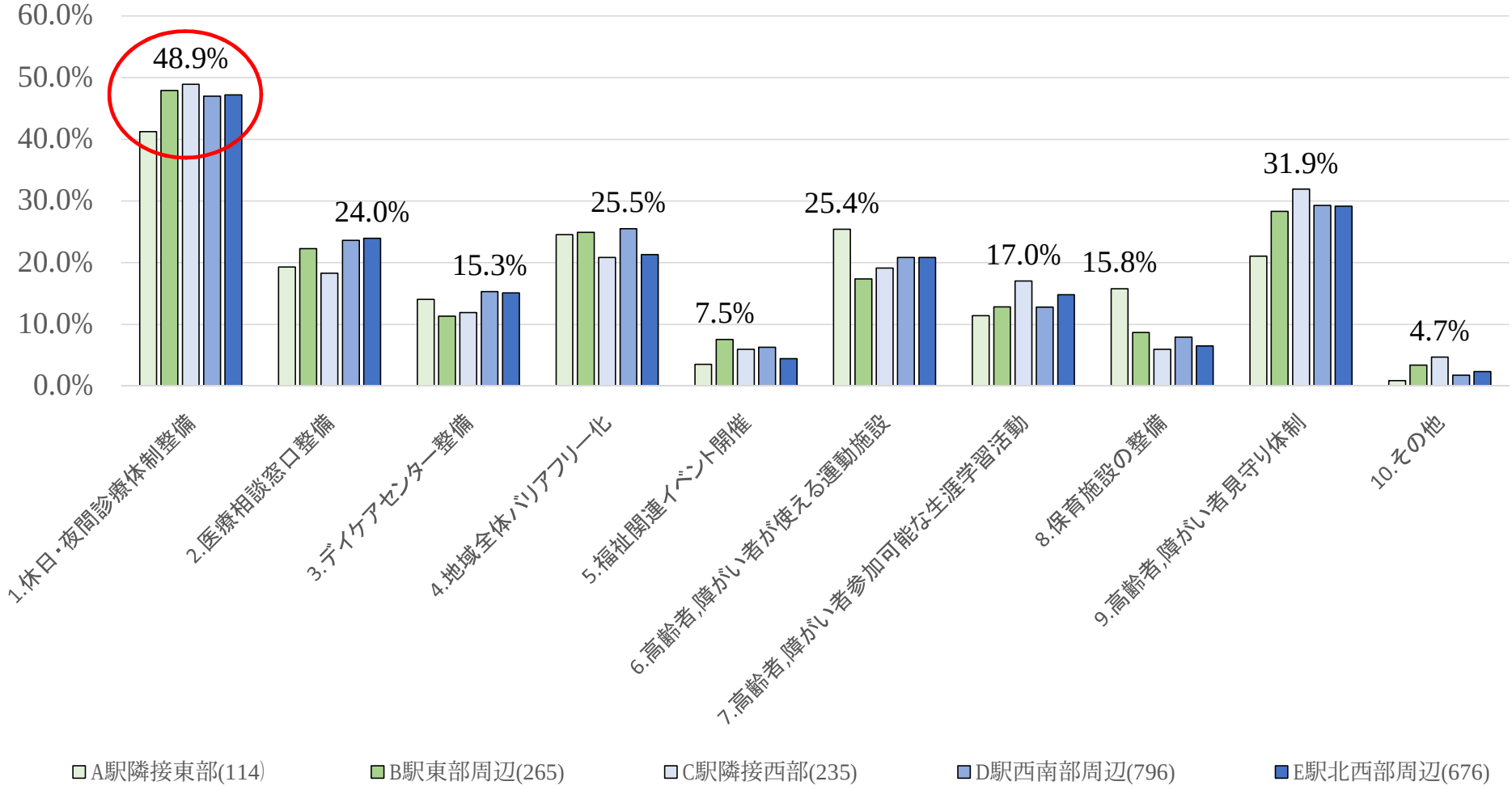
災害時の情報入手手段

1番目～3番目までを合計



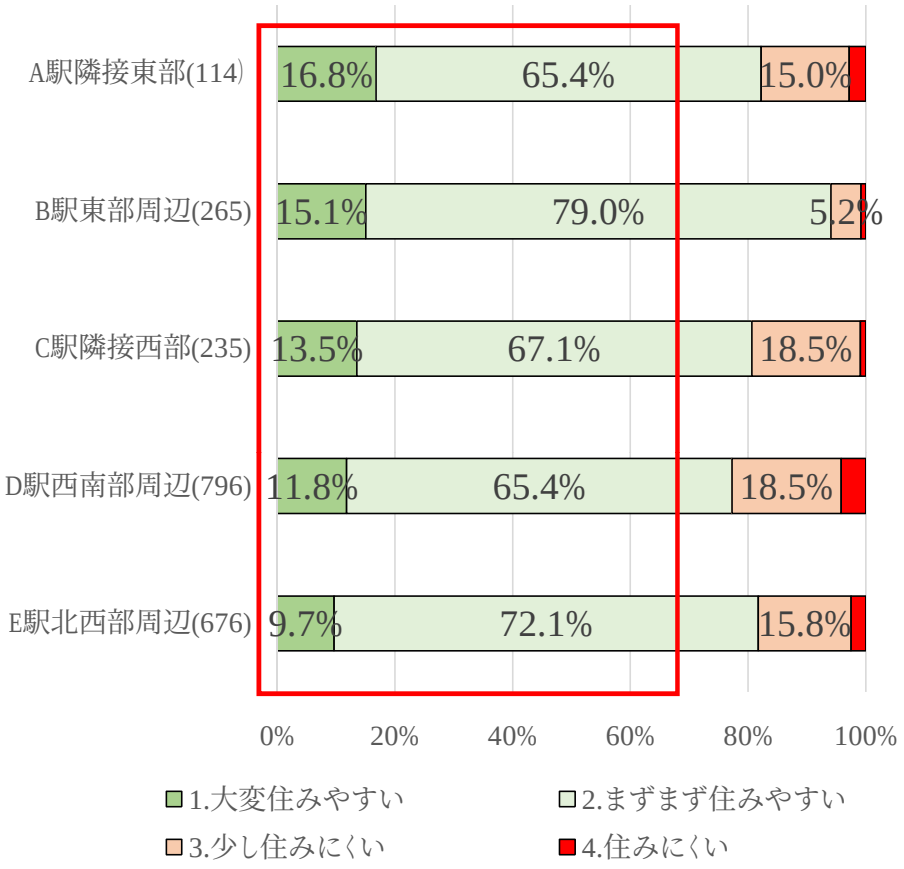
☞浸水の可能性を「1.知っている人」は全体の半数弱。
☞ 「2.浸水可能性を知らない人」、「3.教えてほしい」人も半数近くいる

医療・福祉の課題　地区名の後の(　)内は回答者数

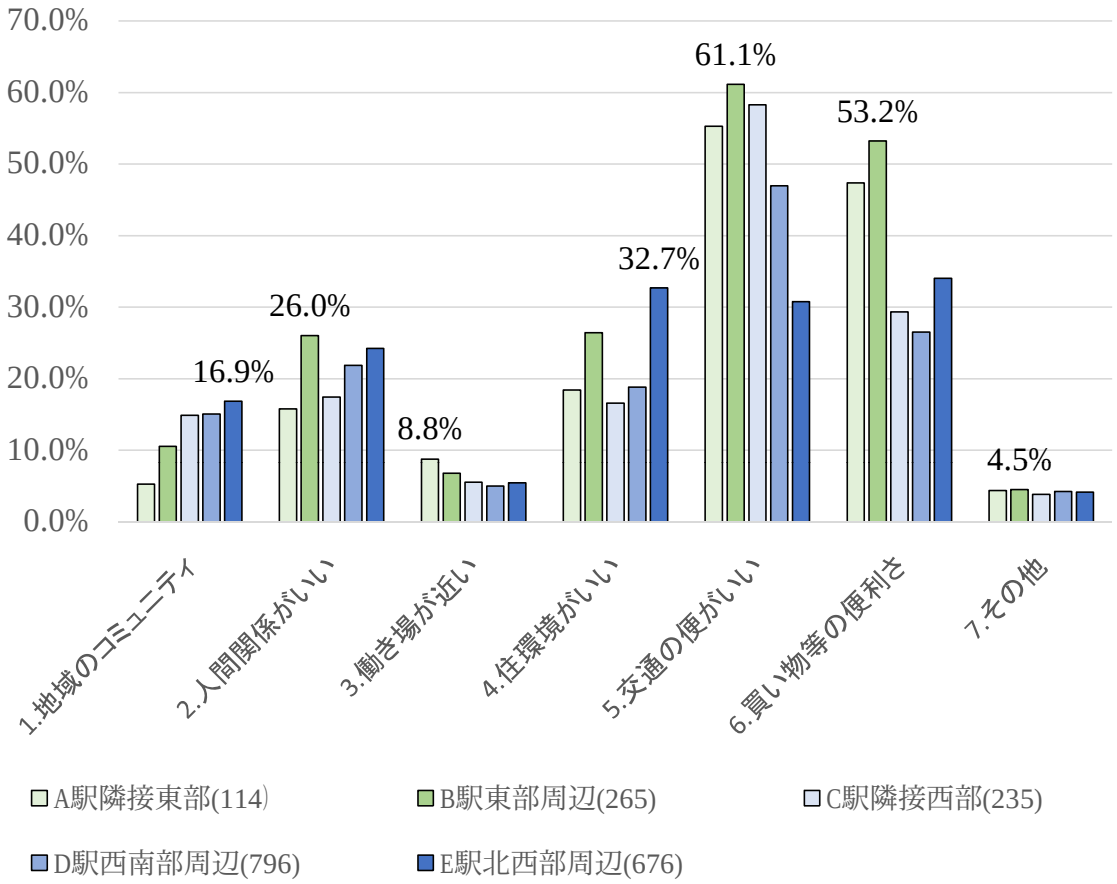


☞駅東西ともに、「1.休日・夜間診療体制の整備」が求められている

地区別住みやすさ

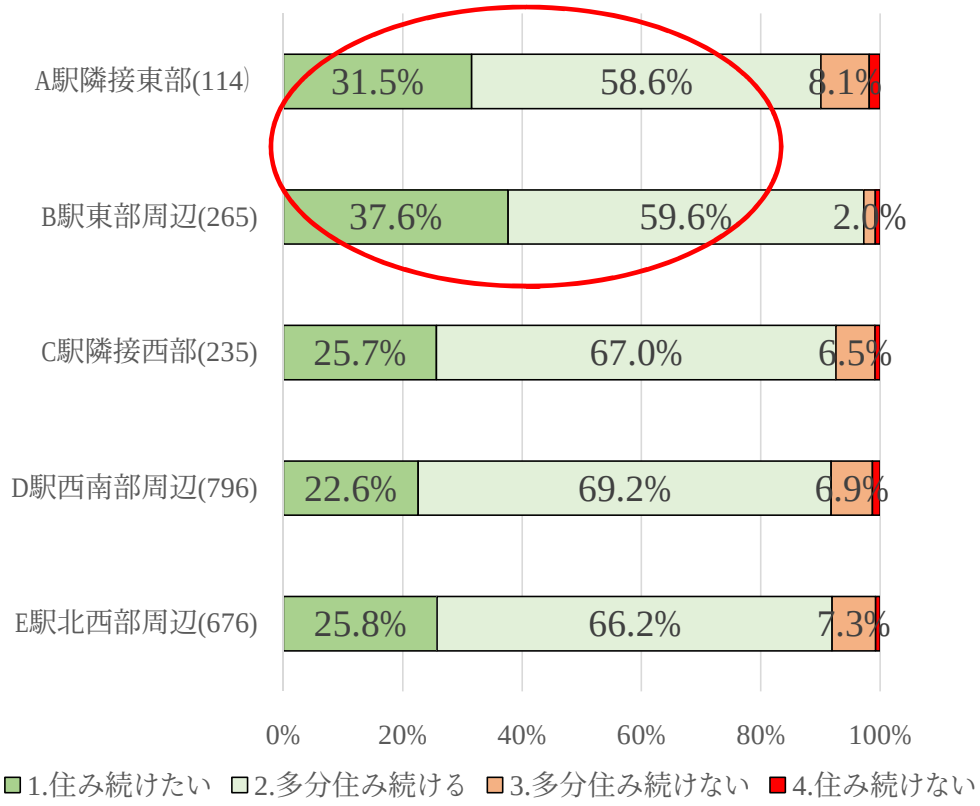


住みやすい理由



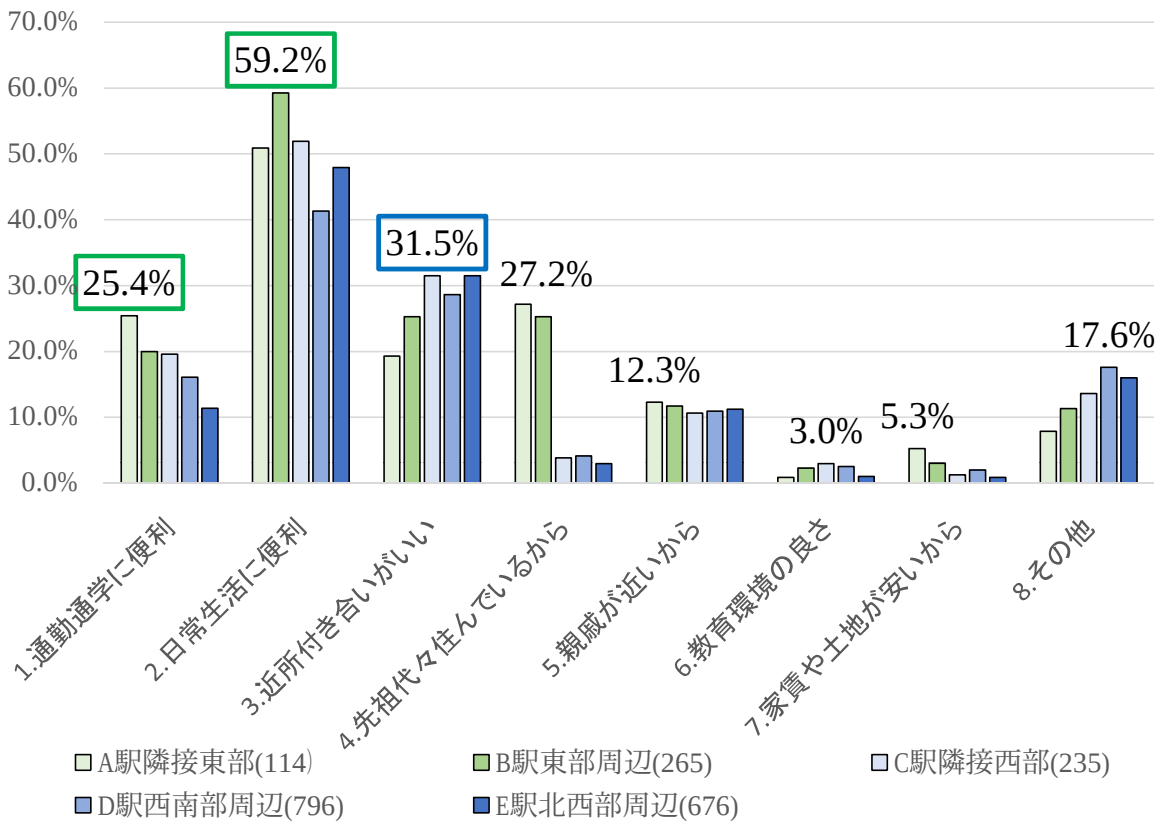
☞エリアに関わらず、およそ80%以上の方が住みやすい（まずまず住みやすい）と感じている。

居住継続の意思



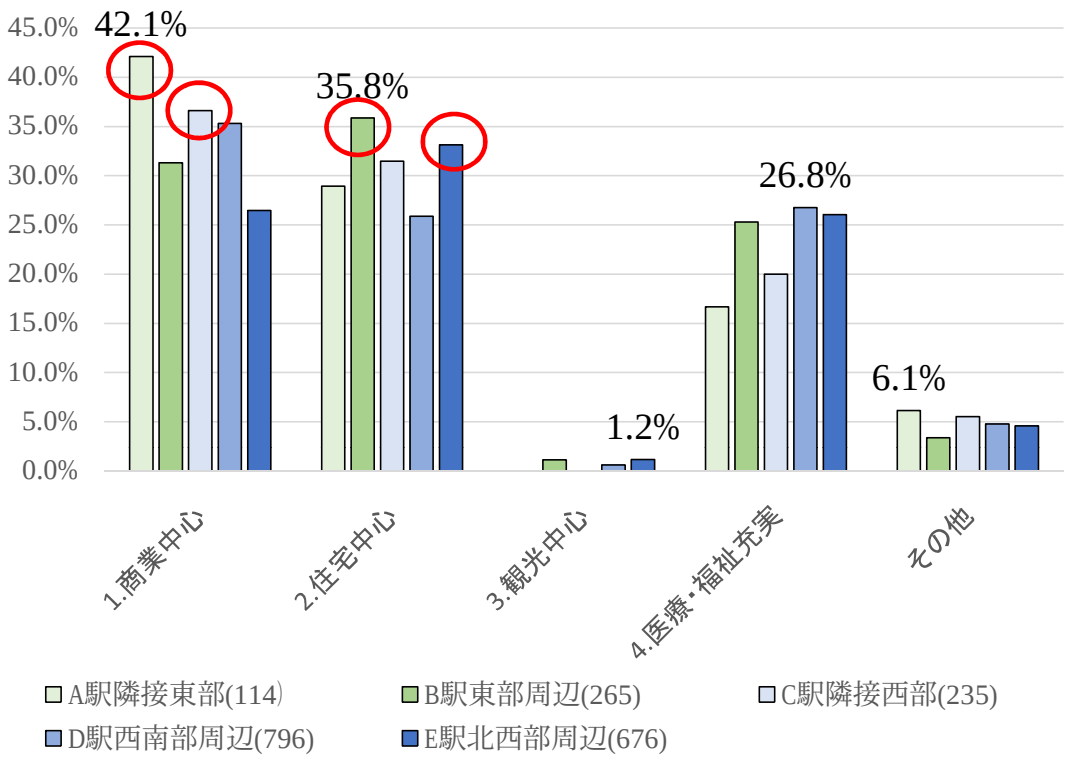
☞エリアに関わらず、およそ90%以上の方が住み続けたい（多分住み続ける）と思っている。
☞相対的に駅東地区の方の居住継続意思が高い。

住み続ける理由



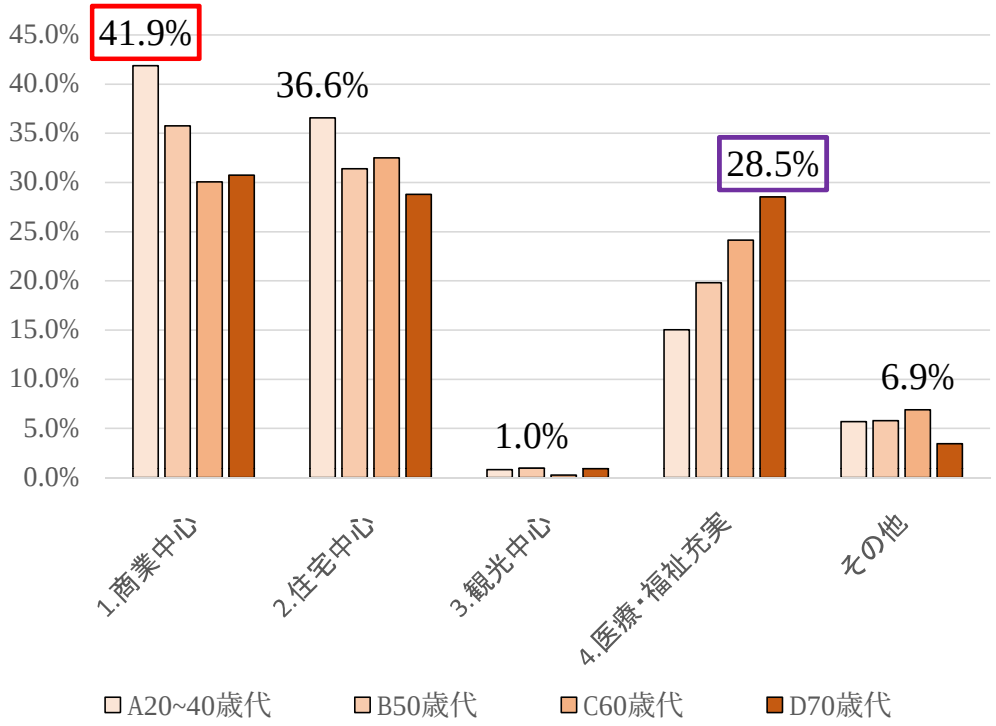
☞（駅東地区）「2.日常生活」、「1.通勤・通学」が居住継続理由。として多い
☞（駅西地区）「3.近所付き合い」が居住継続理由として多い。

地区別小倉地域の将来像



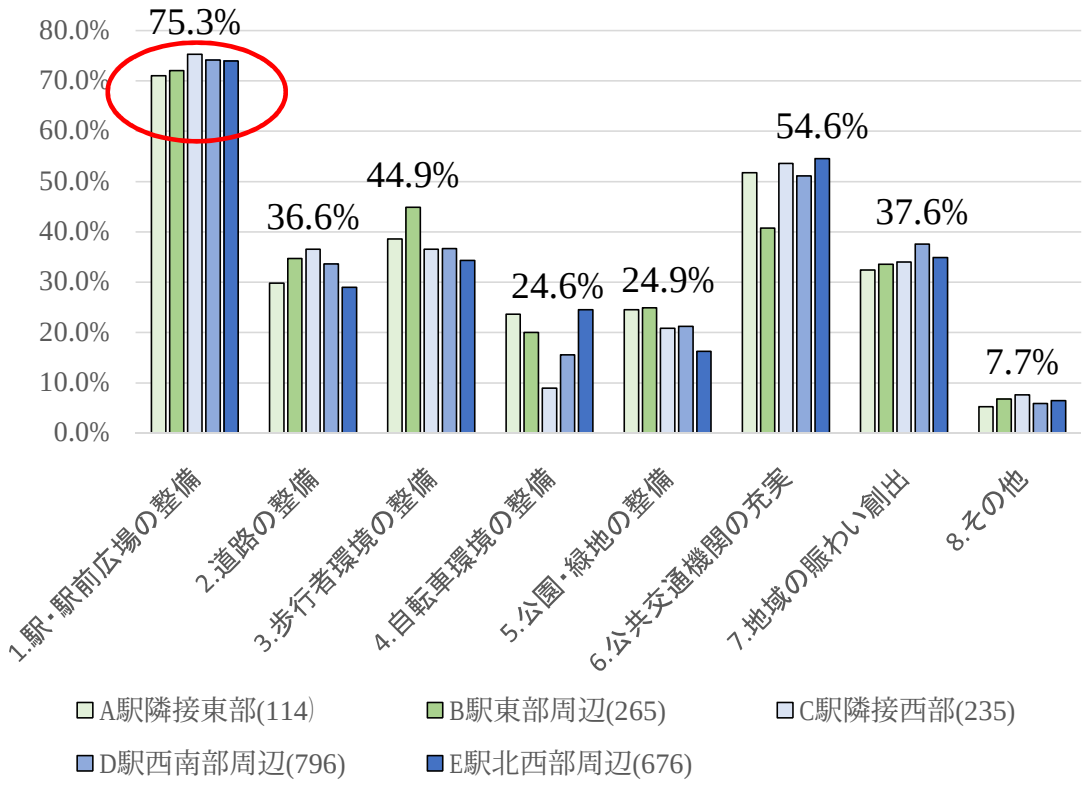
☞全体としては、「1.商業中心(33%）」と「2.住宅中心（31%）」と拮抗している。
☞相対的に駅の隣接部では「1.商業中心」のまちを、そのほかのエリアでは「2.住宅中心」のまちを望む声が多い。

年齢階層別小倉地域の将来像

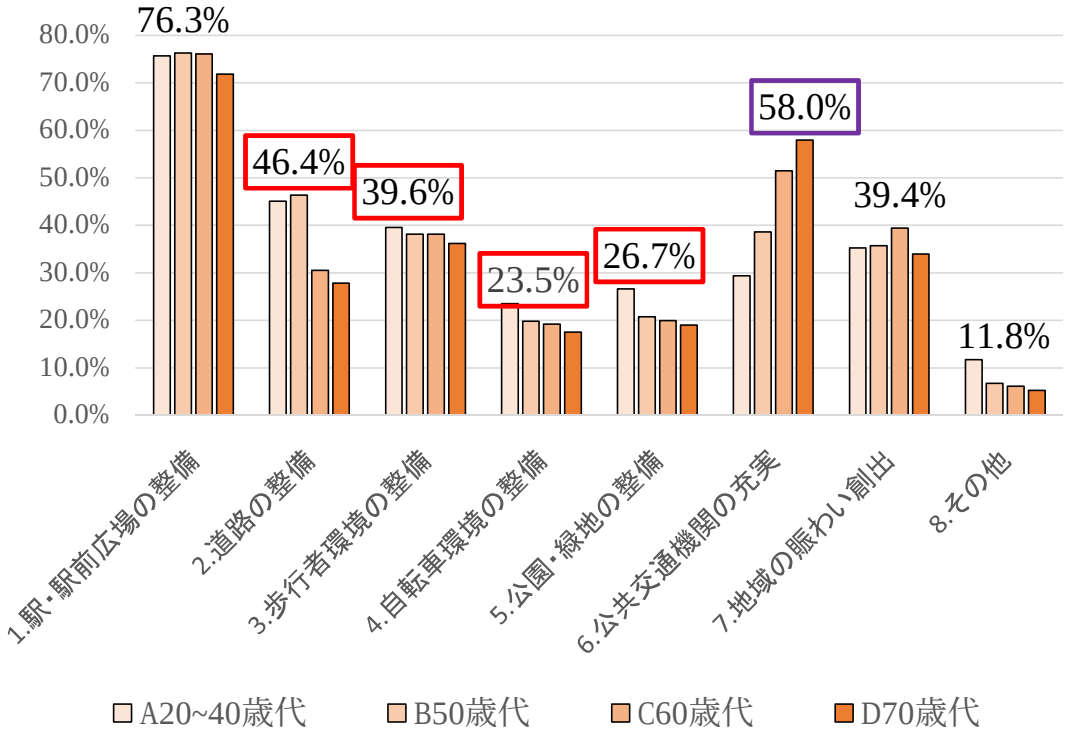


☞若い世代ほど「1.商業中心」を挙げている。「2.住宅中心」の回答も同様の傾向があるが、商業中心に比べれば相対的に低い。
☞「4.医療・福祉充実」では、高齢世代ほど高くなっている。

地区別居住地域で望むこと



年齢階層別地域で望むこと



☞エリア・世代に関わらず駅・駅前広場の整備が求められている
☞（若い世代）「2.道路の整備」、「3.歩行者環境整備」、「4.自転車環境整備」、「5.公園緑地」などを望んでいる。
☞（高齢世代）は「6.公共交通機関」を望んでいる。

今日のプログラム

1. 本日の進め方

2. 進行係挨拶

3. 自己紹介

4. テーマ　①駅および駅周辺の整備について

　　②その他

5. 発表(進行係)

6. まとめ

21:00まで

ルール

- 意見を否定しない
- ぐち・悪口を言わない
- 肩書や立場を忘れる
- ひとの話をよく聞く
- 前向きに考える
- 少数意見を大切にする
- 無理をしない
- 楽しむ
- 主体的に参加する

自己紹介・ごあいさつ

1
お名前

2
小倉地区の
好きなところ

テーマ

①駅および駅周辺の整備について

②その他

テーブルごとの発表！

おつかれさまでした。

ご協力ありがとうございました。